

ふれあい・支え合いの まちづくり推進事業



NPO福祉ねっと宮城

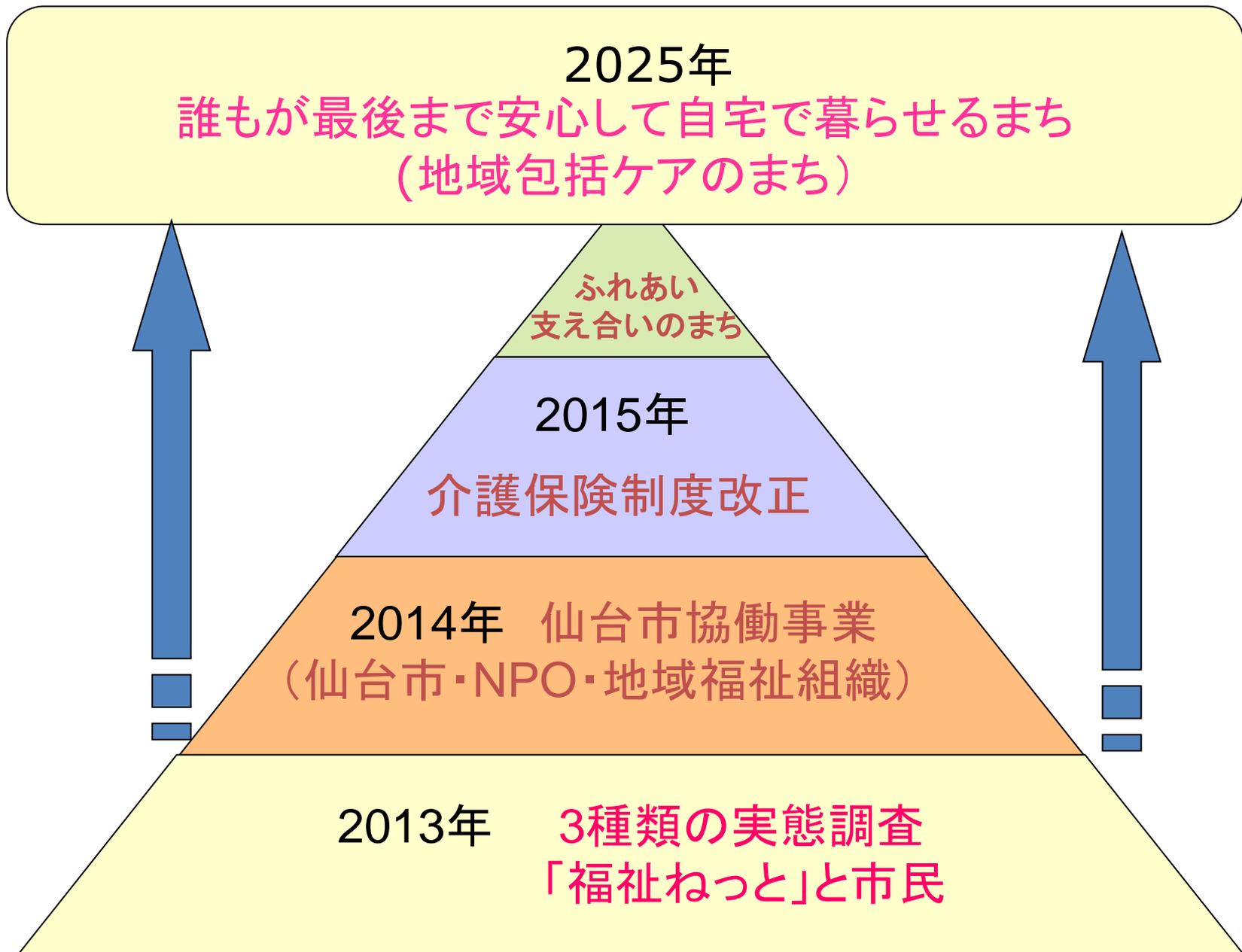
NPO福祉ねっと宮城（協議会）とは

- ① NPO法人あかねグループ
- ② NPO法人おひさまくらぶ
- ③ 認定NPO法人グループゆう
- ④ NPO法人ナルク宮城「けやきの会」
- ⑤ NPO法人ゆうあんどあい
- ⑥ NPO法人あなたの街の三河屋さん
- ⑦ NPO法人WACまごころサービスみやぎ
- ⑧ NPO法人FOR YOUにここにこの家
- ⑨ 地域生活支援オレンジねっと
- ⑩ 一般社団法人あおばサポート
- ⑪ 賢和会 男の台所サロン
- ⑫ L(エル)ネット

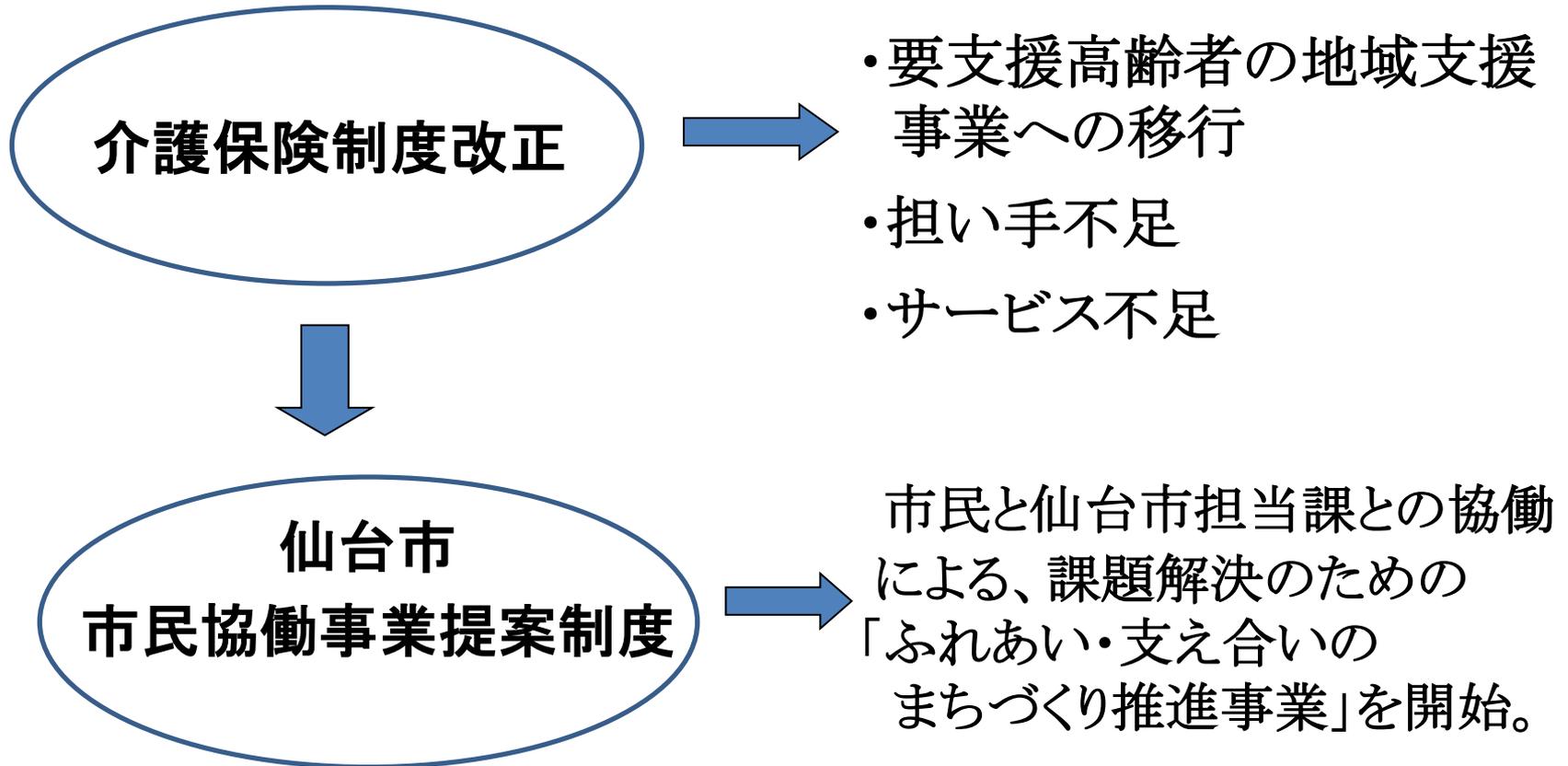
認定NPO法人
グループゆう
(代表)

L(エル)ネット
(事務局)

困ったときはお互いさま
助け合いの有償福祉サービス活動団体



事業に取り組んだ背景



「福祉ねっと」運営委員会

1	26年	5月7日	協働事業について説明
2		6月25日	ボランティア養成研修について
3		7月22日	介護保険改定について
4		9月30日	厚労省のガイドラインについて
5		10月30日	地域連携会議の報告など
6		12月18日 12月20日	ボランティア養成研修の報告と 次年度提案事業について
7	27年	1月30日	次年度提案事業について
8		3月19日	今後の方向性について

協働担当者会議

1	26年	5月19日
2		7月 2日
3		8月25日
4		9月 8日
5		10月31日
6		11月 6日
7		12月16日
8		12月25日
9	27年	2月19日

勉強会

1	26年	5月29日	3種類の実態調査の報告会
2		6月12日	研修会(新地域支援事業のフォーラム)
3		8月25日	担当課と意見交換
4		11月22日	研修会(神戸の事例)

地域連携会議

(フォーラムの様子)

平成26年 10月22日	実態調査の報告
11月22日	研修会
12月16日	取り組むべき課題
平成27年 1月15日	地域資源について
2月23日	包括が取り組んだ 事例報告(福祉マップ)
3月16日	フォーラムの打ち合わせ
3月27日	フォーラム開催



ボランティア養成研修(地域)

地域	実施団体	実施日	参加者数	関心あり	体験 V	登録 V
若林区	NPO法人 あかねグループ	12/12	34	7	3	2
		2/21	52	12		
太白区	NPO法人FORYOU にこにこの家	1/23	70	5	7	0
		2/20	42	2		
宮城野区	NPO法人 ゆうあんどあい	3/24	18	4	1	0
泉区	地域生活支援 オレンジねっと	12/16	30	16	16	15
		3/14	41	16		
	認定NPO法人 グループゆう	12/23	32	6	4	2
		2/26	27	2		
	NPO法人 おひさまくらぶ	3/20	21	1	1	0

367 71 32 19

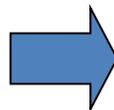


※体験ボランティア32人の中20人は、拠点があることで直接、体験を申しこんできた

ボランティア養成研修(全市)

ボランティア講座(市民の出番) ～見守りから支え合いへ～

- 実施日 2015年1月16日
- 講師 田中 尚輝 氏
(認定NPO法人市民福祉団体全国協議会専務理事)
- 参加者 72名
- 関心ある人 5名
- ボランティア希望 5名
(30日の個別相談会を案内)



ボランティア個別相談会 マッチング・立ち上げ相談

- 実施日 2015年1月30日
- 参加者 1団体と6名(別の日に1名)
- ボランティア希望 3名
- 相談対応 1団体と6名
- ボランティア体験 4名



事業の成果

《地域連携会議構成メンバー》

- **地域福祉に関わる多様な組織**

座長：東北学院大学教授 1名
社会福祉協議会 1名
地域包括支援センター 2名
市民活動サポートセンター 1名

- **担当課** 8名

高齢企画課、介護予防推進室
社会課、市民協働推進課

- **NPO福祉ねっと宮城** 2名
(12団体)



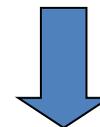
- 複数の関係機関とNPOとが具体的な連携に進むための下地ができた
- 仙台市の地域資源の掘り起こしができた

《ボランティア養成講座》

- 地域6ヶ所で参加者 367名
- 仙台市中央で参加者 79名
計 446名

- ボランティア体験 32名

- ボランティア登録 19名



- 地域での連携の第一歩
- 住民への啓発活動に効果
- 担い手確保の課題が明確

地域連携会議の情報交換からみえた仙台市の地域資源

	地区社協主催のサロン	介護予防自主グループ	老人クラブ（高齢者相互支援・啓発事業）	老人クラブ（地域社会福祉活動推進事業）	NPOが運営する居場所（住民参加型福祉拠点）
目的	見守り、地域の交流、仲間づくり、気持ちのリフレッシュ、閉じこもりや地域からの孤立解消、介護予防等	高齢者の健康づくりと閉じこもり予防	高齢者相互のふれあいを中心とした友愛活動	地域の子供たちと連携し、地域コミュニティ、絆づくりをすすめる活動	居場所づくり 人と人の関係を構築し、集まった人たちのできることを形にし、具体的に「支え合う」関係まで導く。 社会参加の場（生きがい・やりがい）
実施箇所	任意 529 か所	任意 150 か所	各区1ヶ所（指定期間2年間）	地区老人クラブ単位で実施	任意
活動場所	集会所、コミュニティセンター、市民センター等	集会所、市民センター等	自宅訪問、地区集会所、好日庵等	地区集会所、コミセン、市民C等	常設の場 （団体の事務所や賃貸等）
活動内容	お茶のみ、懇談会、福祉や健康等のお話、料理やお菓子作り、手芸、絵手紙、カラオケ、合唱、軽体操等	運動、レクリエーション、茶話会	声掛け安否確認、話し相手、日常生活援助、家事援助、外出援助、庭木手入れ	サロン、茶話会、一人暮らし訪問、伝承活動、世代交流、環境美化活動	茶話会、ふれあい会食、お出かけ、手仕事、麻雀、水中ウォーキング、見守り、学習会、相談対応等、家族・関係機関へつなぐ
参加者	高齢者、障害者、子ども等	高齢者	高齢者	高齢者、子ども	どなたでも。 高齢者、子育て世代、障害者等
運営スタッフ	福祉委員、民生委員、社協役員、ボランティア等	介護予防運動サポーター	老人クラブ会員	老人クラブ会員	NPO団体スタッフ ボランティアリーダー、ボランティアコーディネーター ボランティア、
参加方法	サロンにより異なる	（グループにより異なる）	老人クラブへ	老人クラブへ	自由（申込必要なときもある）
会費	サロンにより異なる	あり	なし	なし	実費負担あり
協力機関	区社協、包括等	保健福祉センター、地域包括支援センター	町内会等地域団体	町内会等地域団体	行政、地域福祉団体や福祉機関等、

今後に向けた課題

■ 広報

- 従来どおりの手法→市政だより、新聞、チラシ、ロコミ
- 新しい広報の手法を取り入れる→フェイスブック、ツイッター、ブログ等

■ 担い手の確保

- 生活支援、配食、移動、託児等 → 有償ボランティア
- 社会参加、見守り、サロン活動等 → 無償ボランティア

■ 地域福祉にかかわる組織との連携

- 支え合いの地域づくりを進めるためには、生活支援コーディネーターを核として、多様な福祉団体の連携が必要。
- 支援を必要とする“人”を囲む、何層もの支援の輪が不可欠。